



生の言葉でわかりやすく

橋爪議員の論戦は他党派の議員も「切れ味が鋭く、しかもわかりやすい」と注目。昨年12月議会では、介護労働者の実態調査、冬期保安要員の拡大検討などの答弁を引き出しました。

現場を踏まえて切々と訴える

右の写真は05年6月の梅雨前線豪雨水害で対策強化を求めているところ。厚生常任委員会での番外発言は30分近くにも及びました。豪雪対策の質問では、質問終了後、中山間地選出の保守系議員から握手を求められる場面も。



『ご協力いただけることをお聞かせください』カード、『橋爪のりかずへの支持約束』カードなどを同封しました。ご協力、よろしくをお願いします。

橋爪のりかず後援会ニュース
発行：日本共産党吉川区後援会
2008年1月 NO 8
電話548-3628

部内資料

橋爪法一市議の略歴

1950年（昭和25年）、尾神に生まれる。旧源中学校、高田高校を経て、1972年（昭和47年）3月、新潟大学人文学部を卒業。1978年（昭和53年）、28歳で旧吉川町議に当選。2005年（平成17年）2月、合併に伴う市議増員選挙で上越市議に。著書に『幸せめつけた』『春よ来い』『山村集落再生の可能性』（共著）。現在、代石在住。57歳。



道路の段差を調べる橋爪市議

「吉川区の代表として、市民の代表として、いつも一生懸命にがんばってきた橋爪市議は吉川の誇りです」
（原之町 高橋勝）

どんな小さなことでも耳を傾けてすぐ飛んでいく
市民から寄せられる要望はどんなことでもすぐ飛んでいく議員です。



他党派との連携をいつも重視して奮闘

柿崎病院後援会の再結成、災害対策等、いつも他党派との協力共同を重視して区民の願い実現に努めてきました。写真は高鳥衆院議員の震災調査に同行した時のもの。（写真提供：楡井県議）



「出される要望は切実なものが多い」と橋爪議員。
議会報告会
100回を超えた

新年おめでとうございませう。本年もよろしくお願ひします。

ありがとうございます 橋爪さん

上越市の幸せ 吉川の地からめつけたて

元山古志村東竹沢小学校長 細井 孝(原之町)

昨年十月、おらが議員、橋爪法一さんの市議会での質問の様子をテレビで見ました。

救済が不十分な震災対策をはじめ、米価下落対策、子ども医療費助成などをとり上げられました。いずれも緊急課題でかつ公正さが求められるものでした。それらは、橋爪さんが市民生活に入り込まれて、とらえられた市民の悲痛な声の集約でしたね。市政に厳しく、市民に温かく……橋爪さんの人柄を改めて見た思いがしました。

区外という周囲や、離れた地から吉川を見直す。また、吉川の地から他の地域をおおらかに比べて見る。そうすることで、本当の吉川の幸せも、足りないところも見えてくる。橋爪さんが区内外を駆け巡っておられる姿にうなづくことが多々あります。

上越全体の幸せ、イコール吉川の幸せです。「いいこと言ってくれた」と党派・クラブを超えて共鳴・同調されることの多い所以(ゆえん)です。吉川の地から選出され、吉川を大事にされることは当然のことながら、常に上越市議としての議員活動。橋爪さんの出身地から上越全地域の幸せ、めつけたて。

橋爪法一 重点公約

- 妊婦健診無料券の拡大、子ども医療費助成制度の充実など子育て支援を強化します。
- 県立柿崎病院の存続・強化をはかり、診療科目を充実させます。
- 介護保険料・利用料の軽減。特養入所待機者ゼロをめざします。
- 国保税は一般会計からの繰り入れで値上げにストップをかけます。
- 地域防災計画の見直しをしっかりとすすめ、災害のないまちづくりのために全力をあげます。
- 主要地方道新井柿崎線の整備促進。
- 「食料・農業・農村基本条例」を土台に、大きい農家も小さい農家も安心して農業を営むことができるよう支援に努めます。
- 「中小企業振興基本条例」を制定し、人材育成、金融支援など総合的な振興策の確立を求めます。
- 地域に根ざした学校教育の充実。学校給食は民間委託でなく直営で。
- 憲法9条を守り、平和施策を充実させます。
- 市政レポートの毎週発行、議会報告会の開催などに取り組み、皆さんの声を市政に反映させます。

橋爪のりかず市議への応援メッセージありがとうございます。まだ、たくさん寄せていただいています。次号にも掲載します。

私たちの声をしっかり届けてくれた

トマト栽培農家 山岸祐子(大乘寺)



橋爪さんは災害復興、給食民営化反対、柿崎病院存続等々、常に市民、弱い者の立場に立って私たちの声を市政にしっかり届けてくれました。市議会には、市政の良い悪いをはっきり言うてくれる人がいなければ夕張のようになってしまいます。橋爪さん続投で、さらに住みよい上越市、そして吉川区に変えていきましょう。

原稿を見ることなく発言し続ける姿に感動

合併後の市議会傍聴回数トップの市民

板倉区 西田節夫

大合併から3カ年が経ちました。私は合併後初の本会議から傍聴を開始し、常任委員会を含め、これまで300回近く市議会を見てきました。吉川区選出の橋爪さんは、自分の意見を堂々と主張される議員なのでずっと注目してきました。選出区のみなさんの声や要望をまず発信し、市民生活に直結した問題をとりあげます。しかも原稿を見ることなく発言し続ける姿には感動してきました。これからはも党派にこだわることなく頑張つてほしいと思います。

弱い人の立場に立って

旧旭小学校・吉川小学校校長 小林和雄
(柿崎区上下浜在住)

私が吉川の小学校に勤めていた頃、就学援助の適用率は県下では下位にランクされました。それを引き上げることに尽力されたのが橋爪議員でした。給食費を納めるのも、ままならなかった児童や家庭がずいぶん救われました。校長としては本当にうれいことでした。今でも忘れることなく、心から感謝しています。

ふるさとへの熱い思いこそ、いちばん大切

児童文学作家 杉みき子

随筆集『春よ来い』を読むと、「みんなのために」という橋爪さんの、あのあふれるような優しさと行動力が、ふるさとの豊かな自然とあたたかい人の心にはぐくまれたことが、よくわかります。そんなふるさとへの熱い思いこそ、地域の政治にかかわる人にとって、いちばん大切なものですね。

野の花を愛でる心、郷土を思う心

前新潟県立植物園園長 松山雄二



橋爪さんが撮影された野の花や風景の写真が気に入っています。特に野の花は、可憐な花でありながらワイルド=野生の雰囲気良く表現されています。これはふるさとの自然をよく知り、常に目配りの出来る人でしか撮れないものです。新潟の自然と野の花の保全に関心のある一人の花人として、橋爪さんの活躍に期待しています。